

耐震診断と耐震補強について

耐震診断を人の体に例えて言うなら健康診断にあたります。旧耐震基準の建物は築年数もたっているから年齢でたとえるなら50歳を超えた健康診断というところかもしれません。

結果、悪いところは少なからず見つかるはずです。

悪いところが見つければ「要治療」となりますが、これが耐震補強ということになります。

「要治療」でも比較的軽い病気もあれば、そうでないものもあります。

しかも、病気を治療することにより寿命が縮まないだけであり、飛躍的に長生きするわけではありません。

建物でも同じことが言えます。耐震補強により地震被害のリスクを少なくすることはできますが、建物の寿命を延ばすことはできない。ということになります。